

活動名称 (40字以内)	町長の秘書業務体験！-現役首長の日々業務に同行し行政現場に向き合う-第2弾		
団体名等	東京大学三四郎会		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input checked="" type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		2~4 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	観光に興味がある人。就労体験の経験の少ない前期課程の学生を特に歓迎する。		
活動期間	8月中下旬の10日間予定	主な活動予定場所	滋賀県日野町
目的	<p>地方公共団体のリーダーである町長の側近で就労体験をすることで、地方政治のしくみや地方の魅力とは何かを探る。民間企業等を経て任期を務める日野町長に学び、「人々の幸せ」のために行政は何をすべきか、何をすることが可能かを自らのこととして考えてほしい。また、自分が今までに学んできた「政治」についての学問的知識が、実際の現場でどのように使われ、またどんな点でギャップがあるのかに着目することで、将来の職業選択にも生かすことができる。</p> <p>得られる知見・経験できること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長という職業はどのようなものか ・町長と職員/議会議員との関係 ・行政とメディアのかかわり方 ・地方政治と国家運営との共通点/相違点 ・政治家に必要な能力/適性とは何か ・他の市町村と比較した時の日野町の「強みと課題」と、そこから得られる「地方創生」のために地方に必要な力 		
具体的な内容 (800字程度)	<p>■企画の大枠</p> <p>①事前プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、問題意識や目標の共有)を行う。 ・他の東京大学三四郎会インターンシップ企画と合同でマナー/スキル研修を行う。 ・昨年の参加者の体験をふまえながら、日野町の行政や町長の堀江氏についての知識と関心を深める。また、数回ほどメンターと集まり、参加者同士で課題・目標設定や日野町に関する調査を行うことで、よりこのインターンを有意義なものにしたい。 (補足)卒業生ネットワークの繋がりを活用し加古川市長にも協力依頼済みで前向きな反応を頂いており、場合により加古川市長と連携した企画の可能性もあり。 <p>②業務内容</p> <p>(過去の市長企画を踏まえて記載)以下のような業務を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長と町役場各部署代表との協議に参加する。 ・町長の出先(講演会や挨拶回り、表彰式など)に随行する。 ・地域イベントや町外・県外出張に同行する。 ・議会を傍聴する。 ・秘書広報部門を中心に町役場の業務を体験し、実際の行政の現場を体感する。 ・町長と懇談し、地域行政とはどうあるべきか等現実的な政治のあり方を考える。 <p>③事後プログラム</p> <p>活動終了後に、他の東京大学三四郎会企画参加者も含めたプレゼン報告会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染状況により、直前にオンライン実施に切り替える可能性があります。 		
備考			
参加するための費用*	内訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 26,100 円 宿泊費 40,000 円 計 66,100 円	参加申請後、Zoomあるいは電話で順次面接を行う。 奨励金額 活動後に算出	
ウェブサイト等			